

# 株式会社東海機械製作所

## 精密機械、大型機械を両立するモノづくり

—電子機器、半導体関連からシールド掘削機まで幅広い実績

記者の目  
ここに注目



✓ 地域産業に密着した事業に特化

✓ DXで仕事の進め方見直し

「規模は小さくても、手がける製品は精密かつ大物が当社の特徴」と近藤盛仁社長は胸を張る。東海機械製作所は昨年、会社設立70周年を迎えた愛知県の典型的なモノづくり会社。創業は終戦間もない頃。戦中、中国大陸で軍事部品の製作を行っていた近藤社長の祖父にあたる近藤正四氏が終戦とともに帰国。岡崎で紡績機などの修理業を創業した。「その後、愛知県の造船所向けに艀装品などを手がけたことが、当社の礎となる大物部品加工の技術力につながった」（近藤社長）。

さらに自動車部品製作用トランスファーマシンのベースを製作するにあたり、従来の溶接から機械加工までをする仕事を請負、1990年代に入ると電子部品実装機などの組立を手がけるようになり大型製品の製作から精密機械製品の技術力も蓄積した。紡織機、造船、自動車、実装機とこれまで社の歴史に刻まれた製品はどれも愛知県を代表してきた産業だ。

### モノづくり改革

現在、主力事業は電子部品実装機や半導体製造装置のベースの加工、組立のほか、シールド工法掘削機の各種大型ユニットの製作。電子部品実装機は中国とタイの子会社でベースの溶接を行い、日本へ輸出。本社で受け入れて組立、仕上げを行



代表取締役社長  
近藤 盛仁さん

う。子会社との分業で、BCPも考慮して最適な生産体制を整えている。掘削機の面盤は直径3メートルの小径モノから15メートル以上の大口径まであつかう。

溶接や機械加工などはかつて職人技をもったベテラン従業員が支えてきた仕事。現場は徒弟制度に近く、技能は伝承するものだった。その同社は近年、DX（デジタルトランスフォーメーション）によるモノづくり改革に着手している。デジタル技術を活用し、仕事の進め方を製造現場、間接部門で見直して進化させる取り組み。「かつて職人に頼っていた仕事を誰でも出来るようにすることが当社のDX」と近藤社長は狙いを明かす。

2023年度、同社は本社工場全域でWi-Fi環境を整えた。そして半導体製造装置の組立部署にタブレットを20台配布した。これまで紙だった作業指示書やチェック表などを電子化。さらに間接部門ではパソコンによる事務作業を自動化する「RPA」も導入。仕入れ先からの入荷確認や発注書などの作成業務を大幅に軽減した。また製造現場では品質確認の際に3次元データにより作成された製品図面と現場で完成した製品をAR技術を用いて精度確認している。「少しずつではあるが、確実に仕事は変わってきた。これを今後は全社に水平展開する」と近藤社長はDX化に手応えを感じている。

### 成長へ失敗を恐れない

同社はこれまで様々な分野の仕事を手がけてきた。「今後も大きく変わる可能性があるが、同時に成長の可能性も秘めているのが当社」（近藤社長）。DX化やAIの普及など社会情勢が変化する



DXで効率高めた職場



得意の大物機械ベースの加工職場

中、求める人材は臨機応変に仕事に取り組む人材。「いろいろな現場を経験して成長につなげてもらいたい」（同）との思いから「好奇心旺盛、失敗を恐れない若者は大歓迎」という。

入社後2ヶ月間はビジネスマナーや社会人としての心得を習得するため研修を行う。その後、製造現場に配属されて研鑽をかさねることに。溶接やクレーン、フォークリフトの資格取得も後押しする。現場では向き、不向きを見ながら育成し、話し合いの中で配置転換も可能。「配置転換後の

成長に目を見張ることもある」と近藤社長は複数の職場経験を推奨する。指導する側は30代の中堅社員が中心。「家庭では育児している社員もいて、若手を教えるのにちょうどいい世代」（同）。指導者、管理者にはハラスメント研修も実践して、コミュニケーションも学ばせている。

「何事にも失敗はつきもの。くよくよしないでチャレンジする若者の気持ちを大事にしたい」と近藤社長は言う。視線の先には2047年の創業100周年がある。

### 理系出身の若手社員に聞く

#### 職場を回す喜び

「高校三年生の時に当社で職場体験したことが入社へのきっかけでした。わずか1週間でしたが職場では大きな声で挨拶されたのが印象的でした。入社後は溶接、組み付け、取引先への出荷などを経て、今の実装機のベース組立に配属されました。現在、手順書を作り替えたり、品質チェックしたりして職場を回して、皆をサポートする立場になり、一層やり甲斐を感じています。新入社員には作業の理由や仕事の意味を理解してもらいたいと思っています。若者が働きやすい職場作りに貢献したいですね」

ハイテック電子部 主任  
瀬脇 鉄馬さん  
(2013年入社)



会社DATA	所在地	愛知県岡崎市藤川町字北荒古32
	設立	1953年(昭28年)4月
	代表者	代表取締役社長 近藤 盛仁
	資本金	5000万円
	従業員数	120人
	事業内容	電子機器関連部品・ユニットの製作、各種大型部品の溶接・精密機械加工
	URL	http://www.tokaikikai.co.jp/

